

基礎研修に関して

令和8年6月

観光庁 国際観光部 国際観光課

通訳案内士の研修について

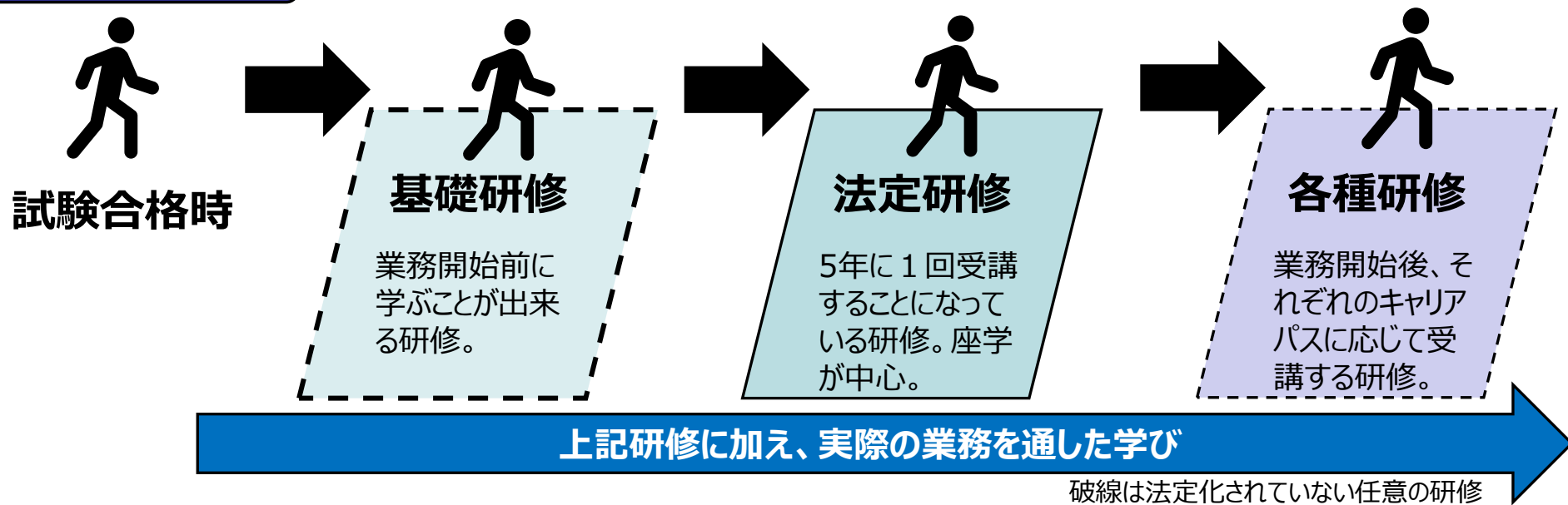
○前ページの通り様々な働き方がある中で、各研修のあるべき姿は以下の通りと考えられる。

基礎研修：任意にどのガイドをする場合でも必要となる働き方を学ぶ場

法定研修：国家資格保有者として最低限度の知識を学ぶ場

各種研修：任意にそれぞれの働き方や目指すガイド像に合わせて能力やガイドの質を高める場

研修の見取り図



論点

基礎研修は引き続き任意に、各種機関の強みを活かして行われることを前提としつつ、今回の検討会の趣旨である、通訳案内士の質の向上を図っていくためには、マナーなど基礎的な知識のみならず、キャリアパスについて学ぶことが必要と考えられるが、どうか。また、その他に学ぶべき事項は何か。

【第1回検討会資料より】基礎研修に盛り込む内容について

- 旅行会社・派遣会社を対象にした調査結果では、研修で強化すべきと考える分野・テーマは「語学力」「接客・ホスピタリティ」「旅程管理・緊急対応」とされている
- 登録団体を対象にした調査結果では、研修で強化が必要な内容は「ストーリーテリング」「ホスピタリティ」「基本的なビジネスマナー」「その他（旅程管理やグループハンドリング）」等とされている
- 調査結果を参考に、基礎研修に盛り込む内容についてご意見をいただきたい

調査結果

研修で強化すべきと考える分野・テーマ（ヒアリング） （旅行会社・派遣会社を対象にした調査）

語学力	■ C社：エスコートや通訳業務以外の会話術を含むコミュニケーションスキルが挙げられている ■ D社：言語力（特に表現力）を研修で強化すべき分野として挙げている ■ D社：コミュニケーション能力が研修テーマとして明示されている
接客・ホスピタリティ	■ A社：添乗員並みのホスピタリティが必要な分野としている ■ C社：接客やビジネスマナー、TPOに合わせた服装が研修で強化すべき分野として挙げられている ■ D社：コミュニケーション能力が研修テーマとして明示されている
旅程管理・緊急対応	■ A社：添乗員並みの旅程管理能力が強化分野として挙げられている ■ C社：様々なパターンにおける緊急対応力およびトラブル対応力（特に医療対応）が明示されている

さらに追加した方がよいと思われる研修内容（複数選択） （登録団体を対象にした調査）

